

■生徒の学力の状況

- 授業や家庭学習に対して主体的に取り組む姿勢に個人差があり、その姿勢がそのまま結果に反映している。
- 定期考査等の結果から、基礎的・基本的な学力の定着に課題を残す。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題

- 生徒の主体性を高めるための問題解決型、探求型の授業や協働学習の時間や機会を十分に切り切れていない。
- 基礎学力の定着のため、毎回の授業で「ねらい」から「振り返り」へとつながる授業展開の徹底が必要である。
- 環境整備に伴うICT機器の活用

■学校経営方針より（学力向上に関わる内容から）

- 問題解決型、探求型の授業や協働学習を取り入れた授業改善を行い、学力向上につなげる。
- 板橋区授業スタンダードに基づき、ねらいを明確にしながら基礎的・基本的な学習の定着を実感させるよう振り返りを行う。
- 全教科においてICT機器の使い方を定着させ、適切な活用方法を身に付けさせながら授業改善にいかしていく。また、生徒自身が家庭学習にも活用できるようにする。
- 長期休業日や放課後等を活用して、家庭学習の方法の習得や補充学習を行う。

■授業革新推進に向けての具体的な方策

視点1	視点2	視点3
問題解決型・探究型の授業	協働学習の導入	指導と評価と支援の一体化
○何が課題かを判断し、自ら情報収集して解決を図る学習の流れを身に付ける。	○各教科の授業において、小グループや前後の関係の中で、お互いに教え合い学び合って課題に迫る協働学習を適切なタイミングで設定し、主体的に考える場を創出する。	○めあてに対する振り返りを通して客観的に自分の活動に対しての自己評価を行えるようにする。

■いたばし学び支援プラン2021の実現に向けた取組

教員の指導力向上	ICT機器の活用	保護者・地域との連携・協働
○ICT担当を中心に、環境整備に伴うクロームブックの可能性を共有するとともに様々な実践例も研修しながら授業に活かしていく。 ○経験年数や教科の特色に応じて都や区の研修に参加させる。	○クロームブックを活用し、話し合いや意見交換、作品の発表等を行い、授業の活性化に役立てる。 ○電子黒板を活用し、わかりやすく提示するだけでなく、考えを共有しながら自分の考えをまとめていく事に役立たせる。	○クロームブックの活用について、課題の提示や調べ学習、提出等、家庭学習との連携を図る。 ○土曜授業等教育活動の公開を実施し、学校の実態を踏まえた連携や協働を実現する。